

年 組 氏名:

実験名:カニの巣穴観察

(目的)

干潟にいろいろなカニがいる。お父さんが、カニの巣穴は種類によって違うと言った。そこで、カニの巣穴を探して、どんなカニがそこで暮らしているのか。また、そのカニの巣穴の特徴を観察した。

(材料)

スコップ、四角の枠(50cm×50cm)、バット、記録帳、カメラ

(観察場所)

〇〇川の河口干潟

(観察方法)

1. 干潟を歩いてカニの巣穴を探す。
2. 観察場所に四角の枠をおく。
3. 枠内の泥の状況を調べる。
4. 枠内の巣穴の数を数える。
5. 巣穴の状況をスケッチする。
6. 一つの巣穴を少しずつ手で掘り、どんなカニがいるのか調べる。タイプの違う巣穴がある場合は、それも調べる。
7. カニの写真を撮り、帰って図鑑で種類を調べる。
8. 再び干潟を歩き、少し環境の違う場所で同様の調査を行う。

調査した環境

泥が多い場所

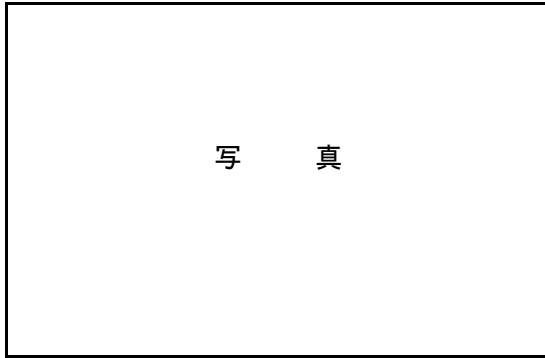


砂が多い場所



(観察結果)

① 泥が多い場所



(環境の特徴)

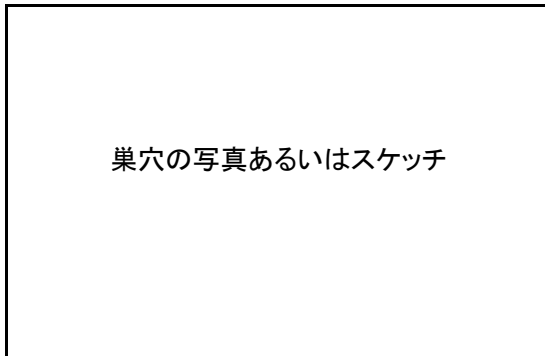
泥が多く、ぬかるむような場所。
泥を少し掘ると直ぐに水が湧いてくる。

(巣穴の数)

巣穴の種類	巣穴の数
Aタイプ	4
Bタイプ	5

(巣穴の特徴とそこにいたカニ)

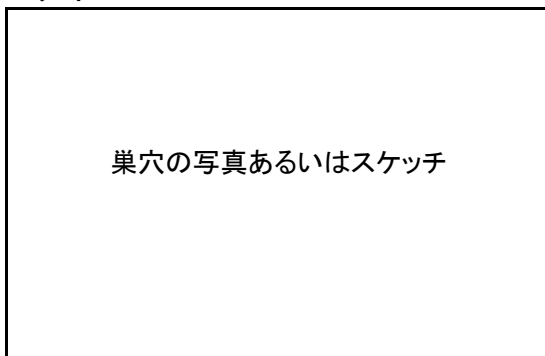
Aタイプ



巣穴の大きさ:

巣穴の特徴:

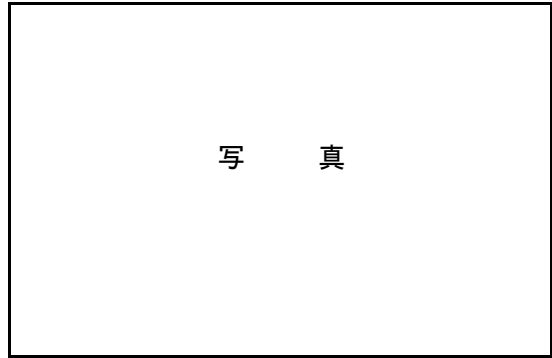
Bタイプ



巣穴の大きさ:

巣穴の特徴:

② 砂が多い場所



(環境の特徴)

砂が多く、ぬかるまない。
砂を10cmぐらい掘らないと、水が湧いてこない。「①」より地盤が高い。

(巣穴の数)

巣穴の種類	巣穴の数
Cタイプ	15

カニの写真あるいはスケッチ

カニの名前:

カニの特徴:

カニの写真あるいはスケッチ

カニの名前:

カニの特徴:

Cタイプ

巣穴の写真あるいはスケッチ

カニの写真あるいはスケッチ

巣穴の大きさ:

巣穴の特徴:

カニの名前:

カニの特徴:

(実験で判ったこと)

※ 干潟にどのくらいの種類のカニがいたか？

※ カニの種類ごとの巣穴の特徴、また生息環境の特徴は？

※ いろいろな場所で観察を行った場合は、観察場所別の巣穴の数をカニの種類ごとにグラフ化することで、新しい発見ができるかもしれない。是非、色々な場所で調査し、そして観察結果を整理してみてね！

(感想)